
競争ルールの検証に関するWG（第16回） 事業者ヒアリング資料

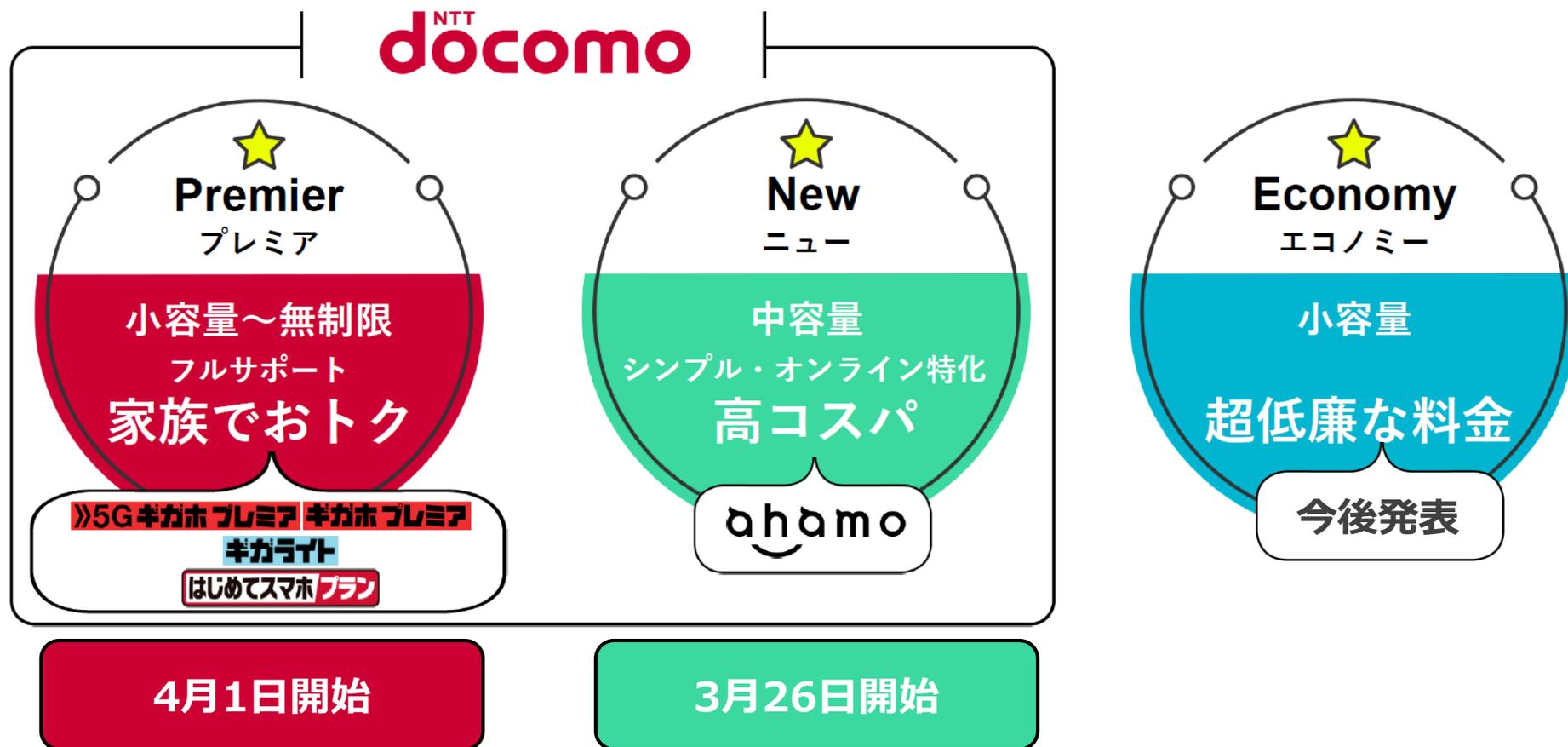
2021年4月16日
株式会社NTTドコモ

【第1部】市場の動向関係

- ✓ 通信市場の動向
- ✓ 端末市場の動向

1-1. 通信市場の動向（改正法に適合する新料金プランの提供）

- 当社は、一人ひとりのライフスタイルに合わせて、複数のコンセプトで料金プランを展開
- シンプルでわかりやすい料金プランの提供により、ご好評をいただいている



1-2. 通信市場の動向（ギガプランの料金見直し）

- 「5Gギガホ」「ギガホ」をシンプルでおトクに見直し（期間を限定した割引を廃止）
- 「家族でおトク」「あんしん・フルサポート」を提供（家族割・光セット割・利用が少なかった月はおトク）

		5Gギガホ プレミア		ギガホ プレミア（4G）	
データ量		無制限 (従来のギガホは ~100GB)		~60GB (従来のギガライトは ~30GB)	
		(～3GBの場合)		(～3GBの場合)	
割引前価格		6,650円	5,150円	6,550円	5,050円
みんなドコモ割 (3回線以上の場合)	▲1,000円	5,650円	4,150円	5,550円	4,050円
ドコモ光セット割	▲1,000円	4,650円	3,150円	4,550円	3,050円
dカードお支払割	▲170円	4,480円	2,980円	4,380円	2,880円

*価格は全て税抜

■ 従来の料金プランに比べ、「5Gギガホ プレミア」は1,000円、「ギガホ プレミア」は600円の値下げ



*dカードお支払割、みんなドコモ割 (3回線以上)、光セット割適用の場合

- ahamoは、デジタルネイティブ世代にフィットする、移行障壁のないお得でシンプルなプランとして提供
- 今後、ahamoを含めた最適なプラン提案、申込手続きのサポート充実により円滑な移行を更に促進

ニューノーマル時代を切り開いていく
デジタルネイティブ世代にフィットした新しい料金プラン

コンセプト

- ✓ 十分なマーケットリサーチ(オンライン・メールなし)
- ✓ 20GB・2,700円(税抜)の低廉な料金
(5分以内通話無料込み、各種割引・手数料なし)
- ✓ メインブランドのプランとして提供
- ✓ 他社に先駆けて発表

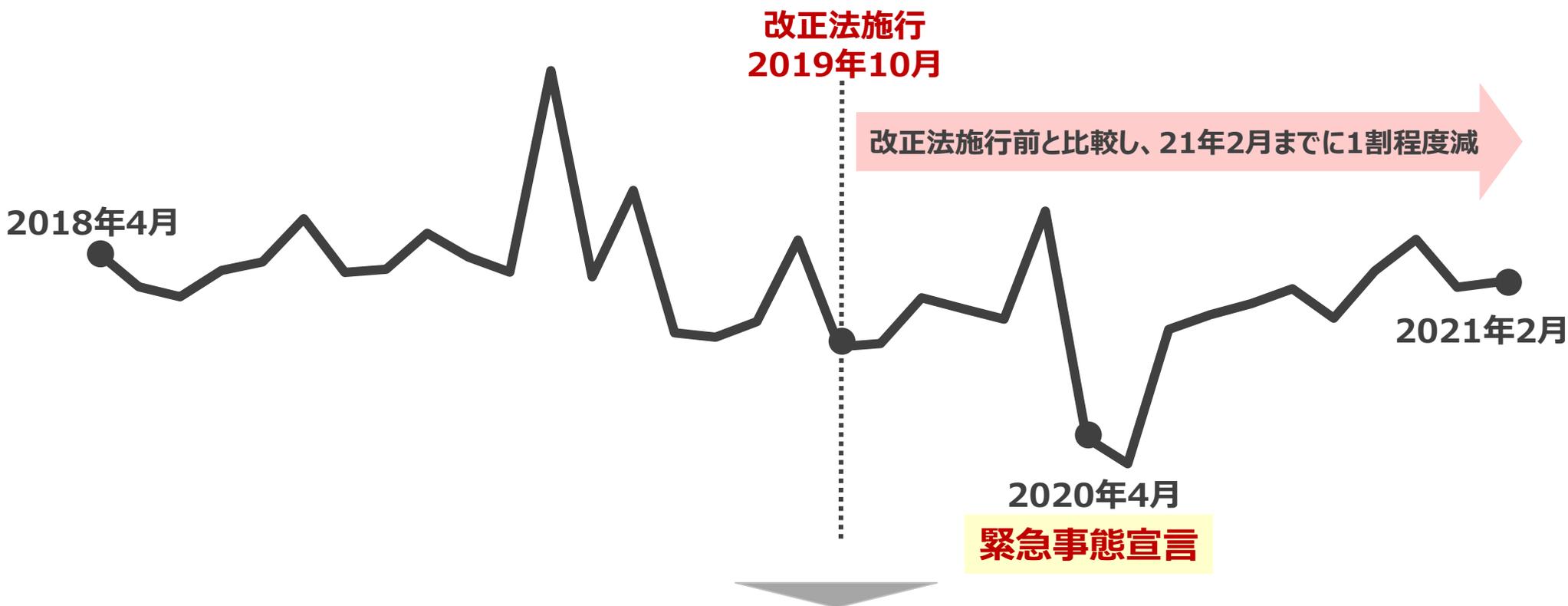
円滑な移行に大きく貢献

提供開始後の課題

- ✓ ahamoを含めた
最適な料金プランのご案内
- ✓ 店頭での受付・サポートなし

店頭でのサポートサービス(有償)
を後日発表予定

■ 事業法第27条の3の規律により、端末代金の値引きが制限され、端末販売数は減少傾向



「通信料金収入を原資とする過度の端末代金の値引き等の誘引に頼った競争慣行について**2年を目途に根絶**」*とされていたが分離徹底やスイッチング円滑化が進む中、**ルール緩和・キャッシュバック競争に逆戻り**すべきではない

*総務省「電気通信事業法の一部を改正する法律によるモバイル市場の公正な競争環境の整備に関する基本的考え方（2019年8月）」より抜粋

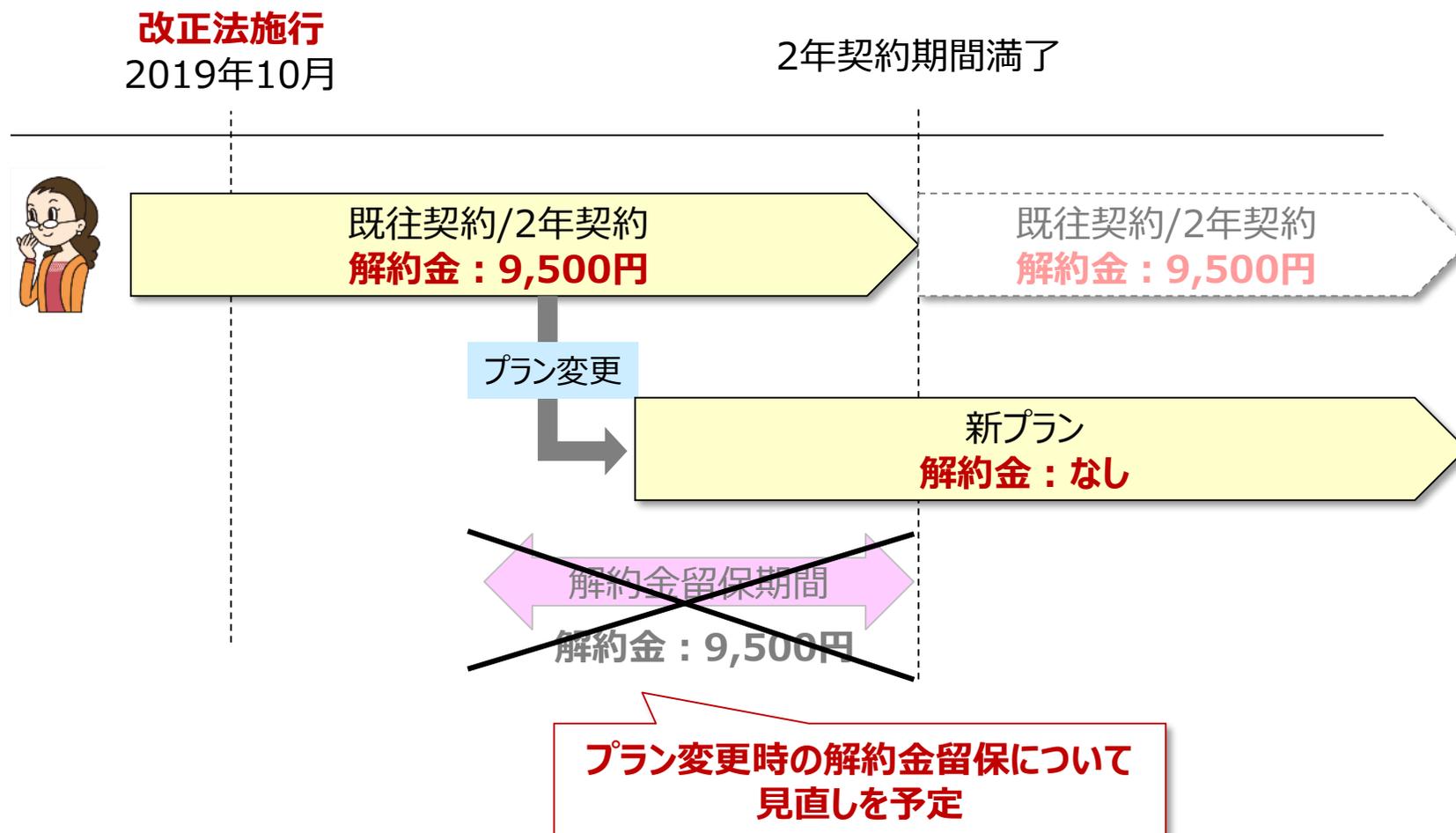
【第2部】改正法の運用関係

- ✓ 改正法の運用
- ✓ 改正法適合プランへの移行状況
- ✓ 覆面調査関係
- ✓ 端末購入サポートプログラム

- 総務省の要請に基づき報告した移行計画*を上回る進捗 *2019年10月に報告
- 今後、2年程度で大宗の利用者が改正法適合プランへ移行する見込み

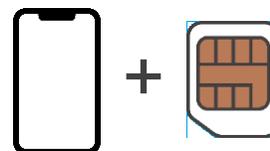
構成員限り

- 既往契約から新プランへ変更する際、当該2年契約の期間満了まで、解約金を留保
- 利用者からのわかりにくいといった声等を踏まえ、見直しを予定（秋頃を目途）
※解約金留保見直しにあわせて、2年契約（解約金1,000円）自体の新規受付終了を予定

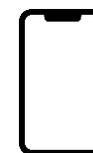


- スマホおかえしプログラムは、端末買替条件なし・プログラム利用料なしで非回線契約者も含め提供
- ケータイ補償サービスについては、非回線契約者向けに提供を予定（夏頃を目途）

回線契約者向け



非回線契約者向け



店頭・オンライン 販売	一括	○	×→○ 検討中*
	分割 (12回・24回・36回)	○	
スマホおかえしプログラム (36回割賦・最大1/3免除) ※端末買替条件なし・プログラム利用料なし		○	○
ケータイ補償サービス		○	×→○ 夏頃を目途に提供予定

*店頭では一括購入可

■ 施行日前までに締結された既往契約は、法施行後も契約時の条件が有効

6-（3） 既往契約等に係る特例

27

< 既往契約の扱い >

- 施行日以後の「更新」（自動更新を含む。）、「条件変更」についても、施行日前の条件によることを許容*。

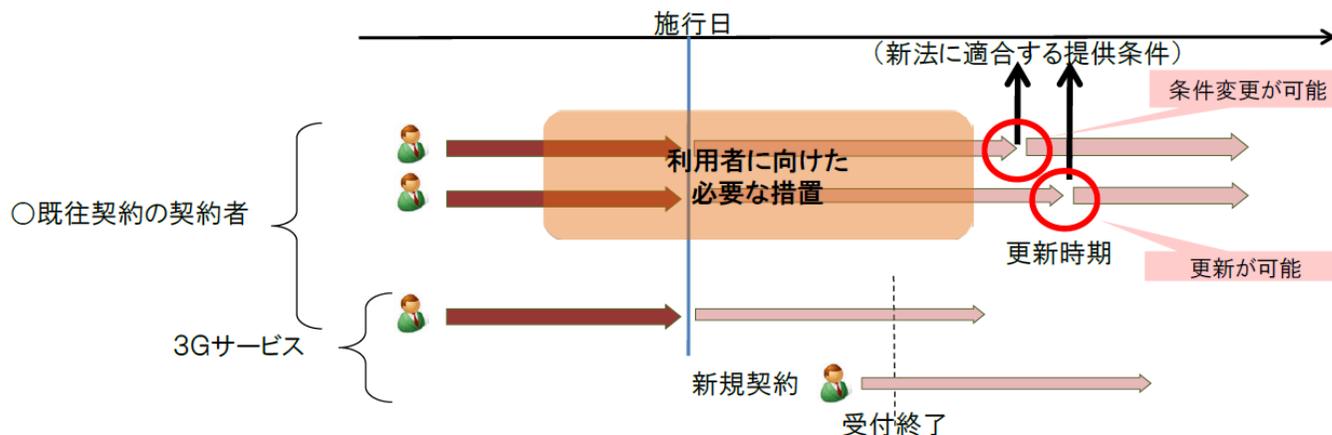
※ 他方で、事業者に対し、利用者が改正法に適合する料金プランに円滑に移行できるようにするための必要な措置を行うこと、改正法に適合する料金プランへの移行で恩恵が受けられるにも関わらず、従来プランを使い続ける利用者が出るのではないよう、十分な周知を行うことを求める。

併せて総務省では、これらの措置の概要、既往契約の利用者の移行状況等を把握し、評価・検証に反映させる。

< 3Gサービスの扱い >

- 3Gサービスについては、2号禁止行為（行き過ぎた期間拘束の是正）に関して施行日時点の料金プラン・条件での新規受付を可能とする*。

※ 併せて、3Gから4Gに移行する利用者に対しては、早期の移行を促す等のため、通信役務の継続を条件としない限り、通信方式の変更により端末が使用できなくなる利用者への対応として、端末の代金を0円未満としない範囲で利益の提供を行うことが可能。



*総務省「モバイル市場の競争環境に関する研究会（第12回：2019年6月18日開催）」の、モバイル市場の競争促進に向けた整備（案）より抜粋

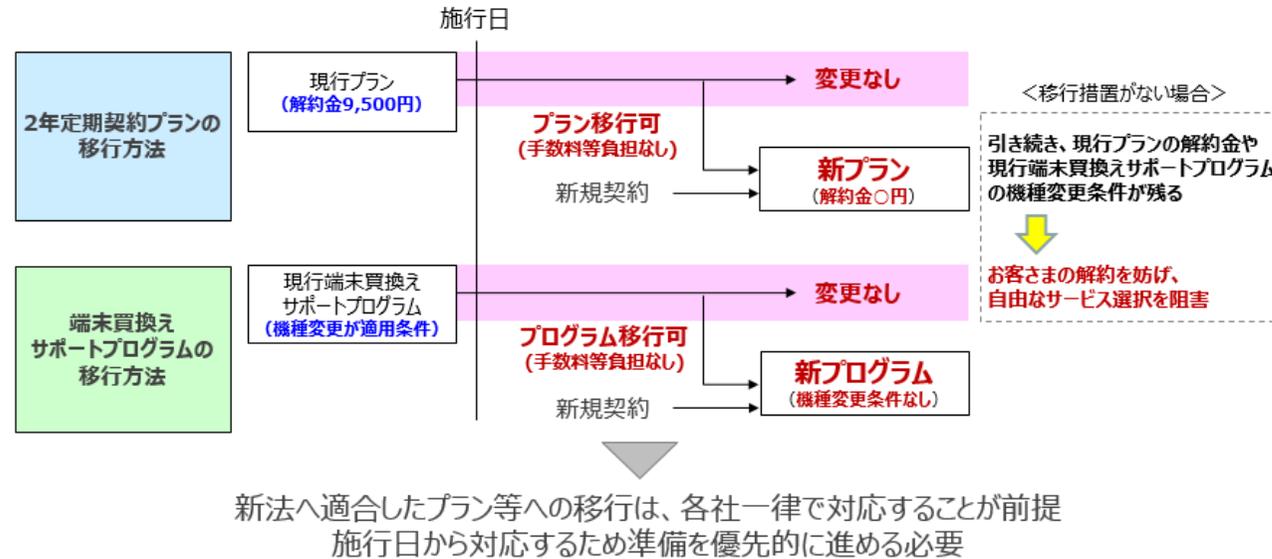
- 当社は、2年定期契約等について新法に適合した料金プランへ移行しやすくするため、各社一律で対応し、利用者の自由な選択を実現すべきと2019年当時より主張・提案

○ 当時の当社主張（事業者ヒアリング/2019年5月30日）

8 既往契約の扱い（自由なサービス選択に向けた措置）



- 法律上の扱いにおいて、施行日前に締結された契約（既往契約）は、法施行後も契約時の条件が引き続き有効
- 改正法の趣旨を踏まえ、新法に適合した料金プラン等へ移行しやすくする政策的な措置を講じ、2年定期契約等に対して手数料負担等なく移行できるようにすることで、お客さまの自由なサービス選択を実現すべき
- 事業者間の不公平が生じないよう、各社一律で対応することが前提になるが、施行日から対応するため準備を優先的に進める必要



2年定期契約の解約金

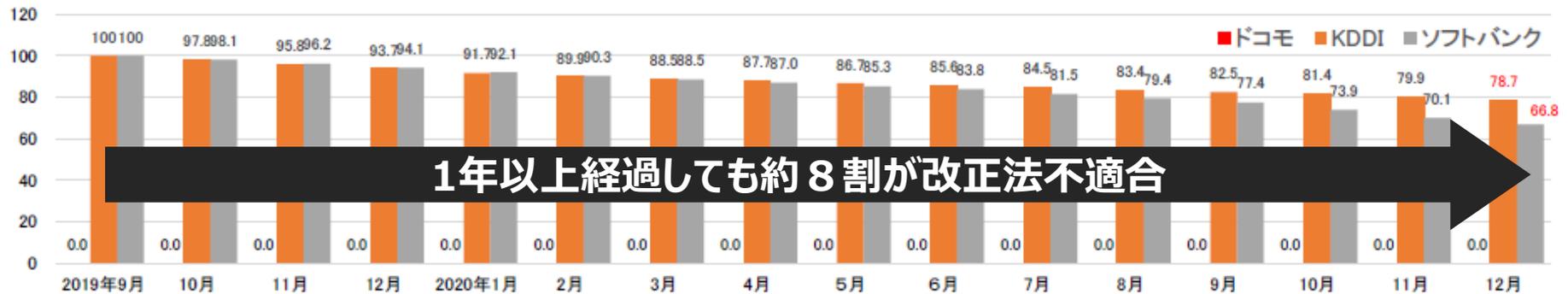
解約金留保見直しを予定
(当社)

端末買替プログラム

割賦契約の残債免除
に係る端末買替条件あり
(他社)

- 割賦代金の残債免除に係る端末買替条件は、利用者の自由な選択を妨げる大きな障壁
- 改正法施行前の既往契約も含め、残債免除に係る端末買替条件を撤廃すべき

事業法第27条の3不適合利益提供等の残存数（割賦代金の残債免除）（個社別）



※競争ルールに関する検証WG（第15回/2021年3月29日）における事務局資料より抜粋

- ✓ 旧端末購入プログラム*₁ は、回線と端末セット販売が行われた上で、**現に8割もの残存があり、高いロックイン効果が継続**
- ✓ 現端末購入プログラム*₂ は、**端末買替条件により、同一事業者の回線が継続される可能性が高く、実質的なロックイン効果を発揮**

*1 プログラム加入にあたり回線契約が必要/残債免除の適用にあたり端末返却及び端末買替が必要

*2 残債免除の適用にあたり端末返却及び端末買替が必要

**利用者が通信と端末それぞれを自由に選択可能となることが
健全な携帯電話市場の発展に繋がる**



**自由な選択を妨げるスイッチングコストの引き下げには
各社一律の対応が求められる**

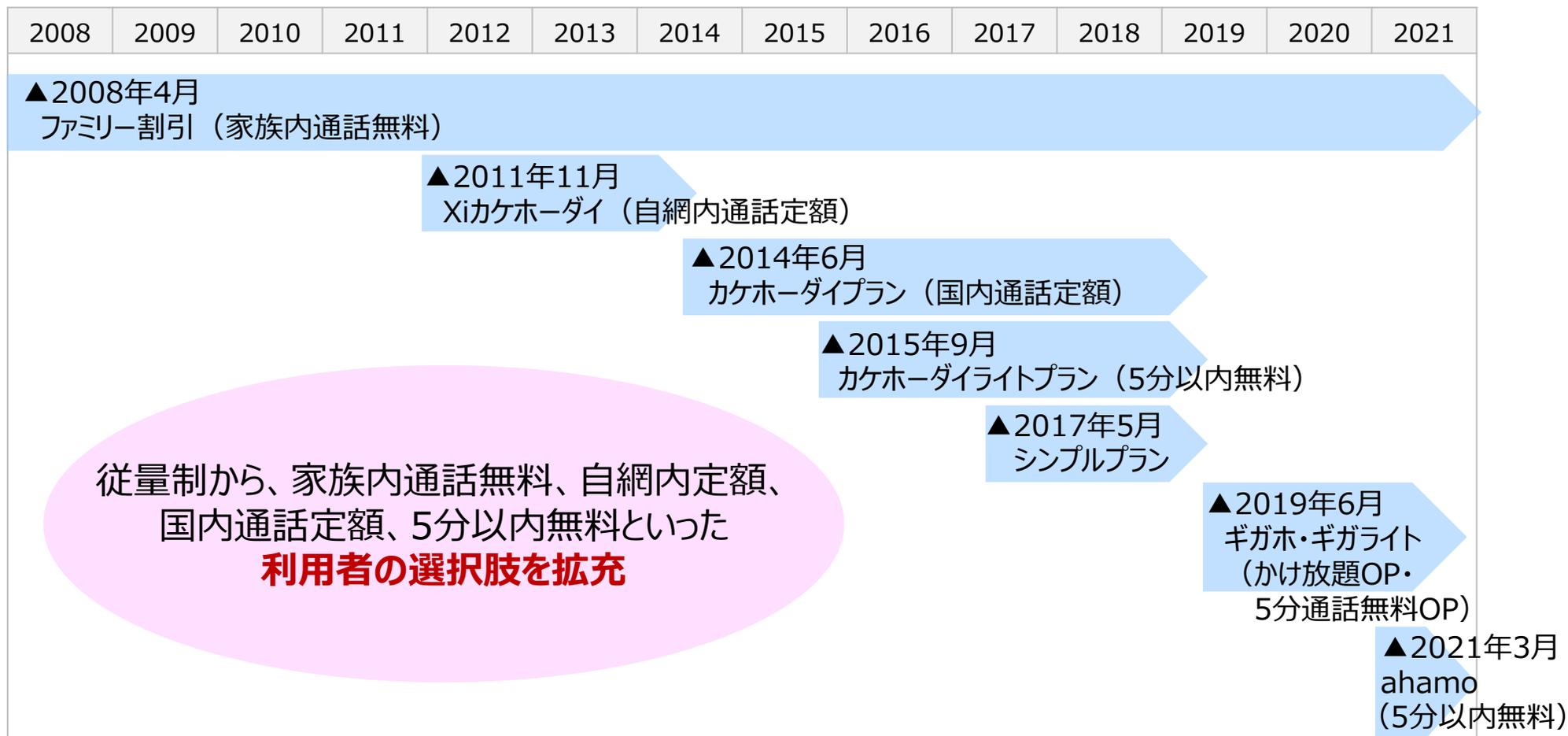
- ✓ 端末購入プログラムの端末買替条件の撤廃
- ✓ 非回線契約者向けのケータイ補償サービス提供

- 利益提供の上限を超過する割引額の提示や、非回線契約者向けの端末販売拒否が発生したことを重く受け止め、再演防止に尽力

構成員限り

【第3部】音声通話料金関係

■ 音声通話料金については、これまでも利用者ニーズを踏まえて継続的に見直しを実施



- 定額制サービス等、利用者の選択肢が増えた結果、多くが定額制サービスを選択し、従量制サービスの音声トラフィックは低減傾向

構成員限り

- 家族内通話無料や、通話料定額制サービスの提供により、利用者の実質負担は大きく低減

構成員限り

- ✓ **料金については、利用者ニーズや競争環境を踏まえて常に見直しを検討**
- ✓ **継続的に利用者にご満足いただけるよう魅力的な料金・サービスの提供に努めていく**



営業・ネットワークの効率化による事業基盤の強化
(3Gマイグレの加速による旧設備の縮退等のコスト効率化を推進)